

フランス語の読解力向上のためのウェブクエスト活用

GOUJON Jonathan
Université de Matsuyama
jgoujon@cc.matsuyama-u.ac.jp

はじめに

数年来、外国語の授業においては、教育用 ICT の利用が増加傾向にある。高度な知識や極端に高価な機材を必要とせず、さらには技術の進歩によって、ICT の利用はますます便利で容易になった。フランス語教育においても ICT を利用する動向が見られる。フランス語は様々な国で話され、文化的にもバリエーション豊かな電子資料が存在するので、ICT の利用は授業に活気を与えるという面でとても有効な手段であると言える。しかし、現在でも、教師の間では、授業で ICT を使用することに対する抵抗があるようにも見受けられる。そこで、授業で活用し易く、まだあまり広く知られていない教育用 ICT のひとつに、ウェブクエストというものがあるので紹介したい。ウェブクエストというのはインターネットの閲覧を通して、順序に沿って質問に答える活動である。質問は学習者が活動を進めて行く上での道しるべの役割を果たしている。質問に答えながら学習者は、インターネット上の様々なウェブページを訪れ、そこに掲載されている情報を理解し、能動的に学ぶ姿勢を身に付ける。こうした活動は、フランス語では「quête virtuelle」、「cyberquête」と、または「mission virtuelle」とも呼ばれている。日本語の名称は英語の「webquest」に由来している。ウェブクエストはいわゆるウェブ上の散策である。

ウェブクエストは、インターネット上のビデオや音声資料を視聴させるなど、聴解力の向上に役立てることもできるが、この論文では、フランス語の読解能力の向上を目指すためのウェブクエストの活用法を中心的に紹介したいと思う。

1) 必要な能力と準備

A) 学習者に必要な能力

Scott Windeatt、David Hardisty と David Eastment によると、学習者が ICT を利用した活動を遂行するためには、ごく初歩的な幾つかの能力があればよい。これは、ウェブクエストにおいても当てはまることだ。まず、学習者はコンピュータを操作することができなければならない。ICT を利用した活動の際、コンピュータの操作に困っている学習者がいれば補助する必要があるだろう。その他にも、インターネットを使った検索ができること、教師の指示を理解すること、2人組みやグループで活動する際の自立性と社交性を持つことが、学習者には必要である。

B) 教師に必要な能力と準備

教師に求められる能力は、学習者に求められる能力に加え、次のことが挙げられる。まず、

ウェブクエストを作成するためには、沢山のウェブページを開くので、ページを見失わないように計画的に作成することが不可欠である。また、教育目標に適切な素材をインターネット上で探し出そうとする探究心も必要だ。さらに、文化や社会学など、扱うテーマを問わず、情報の発信元と内容の真偽を確かめる慎重さも必要である。以上のことに気を配りさえすれば、誰でもウェブクエストの作成ができる。

2) 目標

A) 総合目標

ウェブクエストは、2人組またはチームで課題に取り組ませることで、学習者同士の間でインタラクションを産み出すことができる。学習者には、課題を分け合う、意見交換や結果の照らし合わせをするなど、常に協力が必要となるからである。また、インターネット検索をする行為からだけでなく、ペアまたはチーム内でのやりとりの中からも、学習者はフランス語や文化について学ぶことができる。その結果、一人でテキストに取り組む読解活動に比べ、授業はより刺激的なものになる。Jane O'Donoghue も述べているように、教育用 ICT を使う目的は、学習者の受動的な態度を能動的に変えることである。

B) 教育目標

この論文では、ウェブクエストを活用する主な目的を、読解力の向上に定めている。ここで学習者に求められるものは大きく分けて3つある。一つめは、課題シートに記載されている質問文の単語を調べ、質問を理解することである。二つめは、指定されたウェブページを訪れ、多量の情報の中から必要な情報の記載されている箇所を見つけ出すことである。三つめは、見つけ出した情報を詳しく読み、正しく理解して質問に対する答えを導き出すことである。

ウェブクエストを活用するもうひとつの理由は、学習者を、教育用に加工されていないオーセンティックな資料に触れさせることである。インターネット上には、最新で生の情報が溢れている。レッスンプランの目標に従って、教師がオーセンティックな資料を活用し、ウェブクエストを作成することで、学習者は言語と文化に同時に親しむことができる。こうして学習者が、教材用に加工されていない生の情報を通して、観察眼と分析的精神を磨くこともウェブクエストを活用した学習の目的のひとつといえるだろう。

上記の教育目標を達成した上で、ウェブクエストを産出的言語活動に発展させることも可能である。学習者がウェブクエストを完成するために集めた情報を、次の回の授業で、発表や作文活動に利用させるのだ。そうすることで、学習者に受容的言語活動を提供するだけでなく、産出的言語活動の促進も図ることができる。（添付資料 [Activité de production orale](#) 参照）

3) 作成方法

ウェブクエストを作るのに特別な技能や知識は不要である。Isabelle Barrière、Hélène Emile と Frédérique Gella の勧めている過程に従えば、誰でも簡単にウェブクエストが作成できるだろう。

A) テーマ決定

まずは読解活動の枠を決定する。学習者の年齢・レベル・興味を考慮し、教育目標に適合するテーマを決める。

B) ウェブサイトの選択

ウェブサイトの選択はウェブクエスト作成の主な作業である。情報の発信元と信憑性、全てのウェブサイトの内容がレッスンのテーマに沿っていることに注意する。学習者のレベルに応じて情報の量を調節する。テキストや記号説明や料金表、あるいは地図等、多様な資料が含まれているサイトを優先して選ぶ。

C) コース作り

ウェブサイトの選択が終われば、次はコース作りをする。ウェブクエストでは、学習者は教師が作った質問に答えるため、教師が考えた手順で様々なウェブサイトを訪れる。教師は、あらかじめ選択したウェブサイトを、学習者にどの順で閲覧させるかを決め、コースを組み立てる。

ただし、学習者が質問に答えられず途中で先に進むことができなくなるのを防ぐため、逃げ道が可能なコースを作ることが望ましい。具体的に言えば、コースを複数の小テーマに区切るのである。そうすることで、学習者は答えの分からない箇所を空欄にしたまま、次の小テーマに進むことができる。このように、コース作りの際には、質問数の少ない小テーマを複数作成した方がよい。(添付資料参照)

D) 課題ワークシート作成

課題ワークシートとは、学習者に配る質問のリストのことである。このシートは順を追って学習者をウェブページに導く効果がある。課題ワークシートの作成に関して、ケベック州の教育コンサルタント「DISCAS」は学習者の探究活動を容易にするため、質問の仕方に留意し、各質問に対応するウェブページは一つでなければならないと強調する。DISCASの挙げた例を借りれば、「ロールス・ロイスはいくらですか」という質問をした場合、数え切れないほど多くのウェブページがヒットし、複数の価格が見つかるという問題が発生することになるからだ。

課題ワークシートには、各質問に答えるために訪れるべきウェブサイトのURLアドレスを記載する。この時、対応する質問とURLアドレスに同じ番号をつけておくと、学習者が迷いにくい。(添付資料参照)

最後に、時間が経てばウェブページは消えてしまう可能性があるため、長期間おいてから同じウェブクエストを利用する場合は、授業の前にウェブページとURLリンクがまだ存在しているかどうかを確かめておいた方がよい。

4) 評価と採点

A) 学習者の自己評価

ウェブクエスト活動について、学習者に自己評価をさせる場合は、Isabelle Barrière、Hélène Emile と Frédérique Gella が作成した評価シートの中の自己評価項目が便利かつ適切だ。学習者はウェブクエストを行い、自らの学習姿勢について評価を与える。例えば、「チームメンバーとコミュニケーションを充分に取りながら取り組むことができたか」や「ウェブページから、質問に答えるために必要な情報だけを理解しようとしたか」、または「チームメンバーの意見を簡単に認めたか」等の質問に、「よくできた・できた・あまりできなかった・できなかった」の四段階評価で回答する。こうすることで、学習者は自分の態度を顧みることができる。

B) 道のりに関する採点

DISCASは教師に、適切なウェブページを訪れた学習者の努力も評価対象にすることを勧めている。ウェブ訪問の道のりに関する採点は、ウェブサーフィン能力を評価することである。配点は各ページに1点。そのようにすると、学習者は、質問に答えるための情報を見つけるこ

とができなくても、正しいウェブページを訪れただけで1点を貰える、という配慮である。教師が学習者に直接 URL アドレスを教えた場合は1点を与え、教師の与える指示やヒントを基に学習者が自ら URL アドレスを探した場合は配点を倍にするパターンもある。

C) 課題ワークシートの採点

読解力は、課題ワークシートの質問に対する正しい答えを見つけることができたか否かで評価する。各質問に点をつけ、難度の高い質問の配点を高くする。主な教育目標は読解力の鍛錬なので、ウェブ訪問の道のりに関する配点より課題ワークシートの配点を高くする。

終わりに

ウェブクエストという教育用 ICT を通して、学習者は、生のフランス語や文化に触れながら読解能力を磨くことができる。また、チームワークを育みながら課題に取り組み、他の学習者と一緒に意見交換や協力をしながら活動を進めることで、コミュニケーション能力の習得も可能になる。さらに、学習者はインターネット上の多量な情報の中から必要な情報を見つけ出す作業を通して、フランス語や文化に関する知識を増やせることは言うまでもない。今回見てきたように、コンピュータが苦手な教師も、ほんの少しの勇気を出せば楽しくウェブクエスト活動ができるので、今後どんどん授業で活用していただきたい。

添付資料

ウェブクエスト課題ワークシートの一例

テーマ：南仏ニース市の案内 小テーマ：市場・カーニバル・グルメ

教育目標：フランス語で誘う

A LA DECOUVERTE DE NICE

Profitez de la bourse au voyage de l'université pour visiter Nice !

Découvrir Nice

Tout d'abord, la ville de Nice se situe de la France. (1)
au nord au sud à l'est à l'ouest au sud-est au nord-ouest

Aller au marché

Le marché se trouve sur le Cours Saleya dans le quartier du vieux-Nice.
Décrivez ce quartier en 2 phrases ? (2)

.....
.....

Qu'est-ce qu'on peut acheter le lundi sur le Cours Saleya ? (3)

.....

Qu'est-ce que vous voulez acheter comme souvenirs ? (4)

.....

Faire la fête au Carnaval de Nice

Quand naît le Carnaval moderne de Nice ? (5)

.....

Quel est le thème du Carnaval de cette année ? (6)

.....

Cliquez sur le jour de votre participation au carnaval. Combien ça coûte ? (7)

.....

Petite dégustation pour finir!

Quel plat vous voulez goûter en premier ? (8)

.....

Quels sont les 2 ingrédients importants de ce plat ? (9)

.....

Comment s'appelle le label de la cuisine de Nice ? (10)

.....

- (1) <http://www.cartesfrance.fr/Nice-06100/carte-Nice.html>
- (2) <http://www.gralon.net/articles/voyages-et-tourisme/guide-et-annuaire/article-le-vieux-nice-et-son-histoire--2069.htm>
- (3) <http://www.nicetourisme.com/nice/1398-marche-a-la-brocante-saleya>
- (4) Tapez « Brocante Saleya » dans google puis regardez les photos
- (5) <http://www.nicecarnaval.com/carnaval/historique/origine.php>
- (6) <http://www.nicecarnaval.com/carnaval/presentation/theme.php>
- (7) <http://www.nicecarnaval.com/carnaval/programme-tarifs.php>
- (8) <https://www.nice.fr/fr/les-traditions-nicoises/la-cuisine-nicoise?lang=fr>
- (9) Cliquez sur le plat.
- (10) <http://france3-regions.francetvinfo.fr/cote-d-azur/alpes-maritimes/nice/le-label-cuisine-nissarde-le-respect-de-la-tradition-369735.html>

Activité de production orale

Invitez un camarade à visiter Nice avec vous.

Présentez-lui votre programme, ce que vous voulez faire.

参考文献

BARRIERE I. EMILE H. & GELLA F. (2011). *Les TIC, des outils pour la classe*, Grenoble: PUG.

DISCAS. Le Rallye virtuel, « www.csrdn.qc.ca », consulté le 11 novembre 2015.

O'DONOGHUE J. (2000). *To Cope, to Contribute, to Control* in “English in the Digital Age”, Londres: Cassell Education.

WINDEATT S. HARDISTY D. & EASTMENT D. (2011). *Resource books for teachers: The Internet*, Oxford: Oxford University Press.

吉島茂・大橋理枝（訳）、(2004)「欧州評議会、外国語教育〈2〉外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠」、東京 GOETHE INSTITUT・朝日出版社、東京。